

鉄鋼環境 基金ニュース

2015年4月1日

第58号

掲載内容

1. 2015年度 環境助成研究の募集について

2015年度 環境助成研究の募集について

(公財)鉄鋼環境基金は3月5日(木)に第16回理事会を開催し、2015年度の事業計画を決定いたしました。本事業計画に基づき2015年度の環境助成研究を募集いたします。

募集期間は4月～5月の2ヶ月間で、技術委員会による選考審査を経て、10月下旬に開催予定の理事会で助成研究テーマを決定いたします。

助成研究募集要綱の概要は下記の通りです。詳細は当財団のホームページに掲載しております。

1. 募集期間

2015年 4月1日から5月31日まで

2. 応募資格

- (1) 一般研究助成 : 日本国内にある組織に属する研究者。
- (2) 若手研究助成 : 日本国内にある組織に属する研究者で、2015年4月1日現在満年齢が35歳以下の者。

3. 助成研究の対象

鉄鋼製造に関連する環境保全技術課題に関する研究を助成対象とします。具体的な課題については、4. に、また、この中で特に関心のある技術課題については、5. に示します。なお、若手研究助成については、より基礎的な研究についても助成対象とします。

4. 環境保全技術課題の具体例

(1) 大気環境保全技術

- ① 大気環境対策技術の省エネルギー化、低コスト化及び高効率化
- ② 水銀等重金属類の低減技術
- ③ 微小粒子状物質(PM2.5)の対策技術
- ④ ニッケル化合物の形態別定量分析法

(2) 土壌・水質保全技術

- ① 水処理技術の省エネルギー化、低コスト化及び高効率化
- ② 排水中重金属の除去・回収技術
- ③ 自然由来の土壌・地下水汚染の影響評価及び対策技術
- ④ 閉鎖性海域の環境対策技術

(3) 副産物の利用促進技術

- ① 鉄鋼スラグ(高炉スラグ、転炉スラグ、電気炉スラグ等)の利用技術及び高付加価値化技術
- ② 鉄鋼スラグの海域利用等における水質浄化・環境創造・環境影響評価
- ③ 鉄鋼ダスト、鉄鋼スラッジ、鉄鋼スラグ、廃レンガの減量化、減容化、再利用技術

(4) 地球環境問題

- ① 鉄鋼製造プロセスにおける抜本的な二酸化炭素排出削減技術
- ② 未利用エネルギーの有効活用技術
- ③ 二酸化炭素の分離・固定化・隔離技術
- ④ 発展途上国に適用可能な環境技術

(5) エコプロセス

- ① 環境汚染物質の発生を抑止・極小化する鉄鋼製造関連技術
- ② 循環型社会の構築に資する鉄鋼関連技術(震災廃棄物含む)

5. 特に関心のある技術課題

上記技術課題の中で、現在、鉄鋼関連で特に関心があるのは以下の課題です。

- (1) 微小粒子状物質(PM2.5)の対策技術
- (2) 排水中重金属の除去・回収技術
- (3) 鉄鋼スラグ(高炉スラグ、転炉スラグ、電気炉スラグ等)の利用技術及び高付加価値化技術
- (4) 鉄鋼製造プロセスにおける抜本的な二酸化炭素排出削減技術

6. 研究期間

助成研究の実施期間は、原則として2015年11月から2016年10月までの1年間とします。一般研究助成は3年まで、若手研究助成は2年まで継続申請ができます。ただし、採否の決定は年度毎に決定しますので、継続申請が必要です。また、研究期間の延長は原則認めません。

7. 助成件数

一般研究助成及び若手研究助成合計で50～60件程度とします。

8. 助成金額

- (1) 一般研究助成 : 1件当たり150万円/年以下とします。
ただし、3年目の継続研究は原則として1件当たり100万円/年以下とします。
- (2) 若手研究助成 : 1件当たり100万円/年以下とします。

9. 助成研究の選考ならびに選考結果の公表

本財団に設置している技術委員会の選考結果に基づき、10月下旬頃の理事会で決定します。選考結果は本財団のホームページで公表します。

10. 申請手続き

定められた様式の申請書を作成の上、E-mailで本財団に提出してください。申請書の作成方法、その他詳細については、2015年度環境助成研究募集要綱によるものとします。

11. 申請書の提出期限

申請書の提出期限は **2015年5月31日 必着**とします。

鉄鋼環境基金ニュース 第54号

2015年4月1日発行

発行所:(公財) 鉄鋼環境基金

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館6階

Tel:03-5652-5144 Fax:03-5641-2444

E-mail: sept.senmu@sept.or.jp

URL: http://sept.or.jp/

発行人:専務理事・事務局長 中島 康久